

広 報

# 富士川

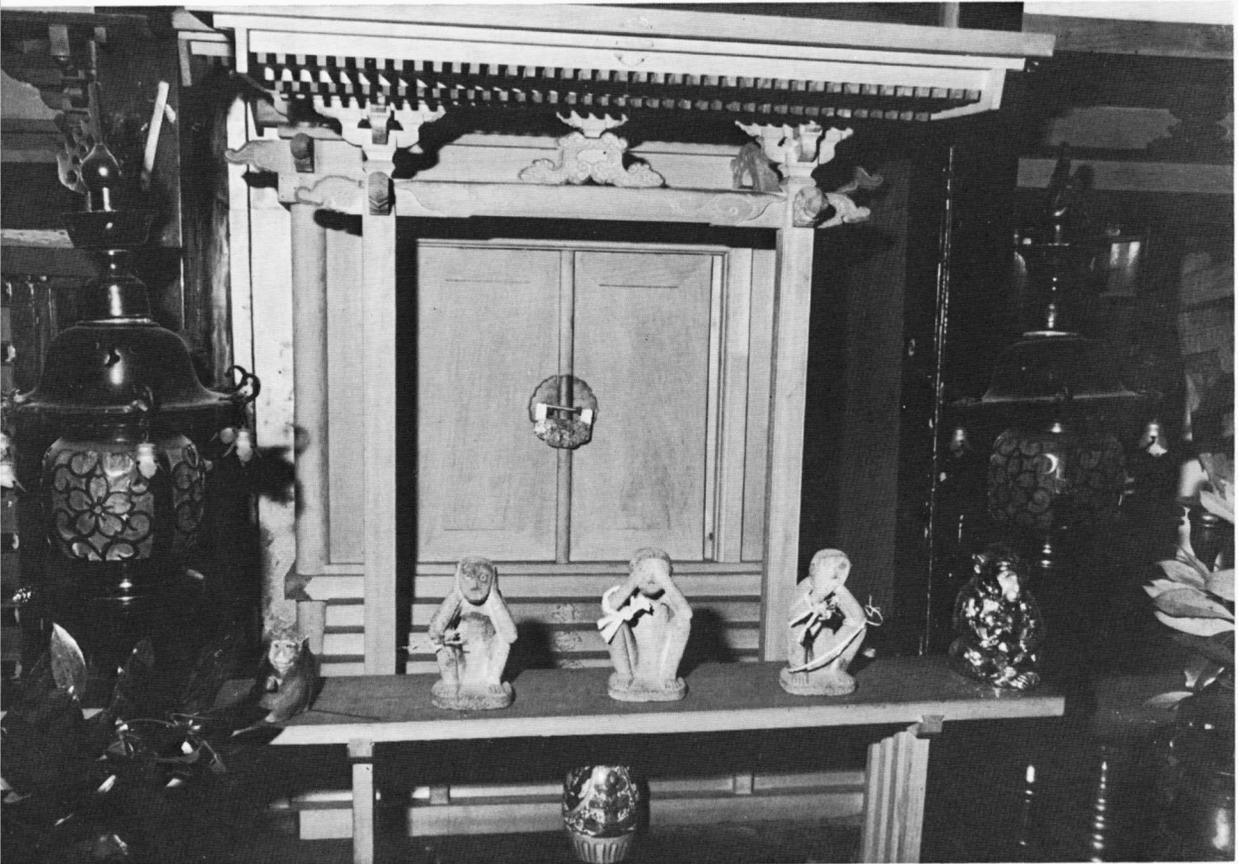
3月号 昭和52年3月15日発行 No. 192

## 町のメモ

昭和52年2月11日現在

人口	16,682人
増減	+35人
男	8,269人
女	8,413人
世帯数	4,058世帯
面積	31.09 <sup>km<sup>2</sup></sup>

富士川町 企画課



## — 町の史跡名所 その9 —

# 岩淵相生町 庚申堂

庚申堂は、役場庁舎の真横東側に位置します。延宝年代に存在していた長泉寺の本堂ともいわれており、約300年近くも経過していることから、古い歴史を物語っています。

この庚申信仰は、もと支那の道教の三尸説さんし（あやまちや罪を犯した者を、庚申さんが天に昇って天帝に報告すると、その人は、生命を奪われる）から生じたものであり、庚申の夜に講をもって、政治・経済・文化・わい談・旅行などの話をして、庚申さんが天帝に報告することを阻止するため、現在は、相生町の庚申を信仰する人たちが、60日ごとにめぐってくる庚申の日を縁日として、庚申の教を守って講を行っています。

街を自然を美しく  
吸いがらの投げ捨てはやめましょう。

# Smokin' Clean

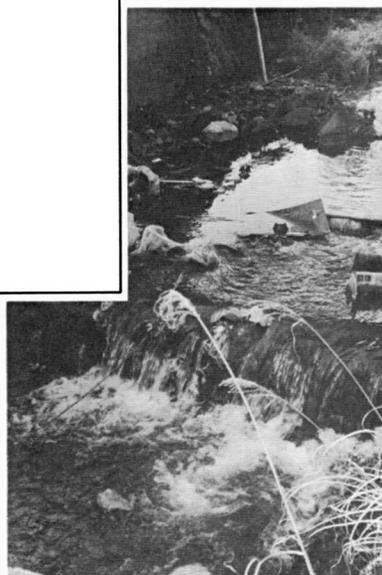


日本専売公社

たばこの吸いがら  
必ず吸いがら入れに！



美化運動実施中の  
儘下クラブのみなさん



あいかわらず河川への  
ごみの投きはなくなりません

## 町のこころの目標

### きれいな町にしましょう

町民憲章ことしの目標である「きれいな町にしましょう」は、町民総ぐるみで推進して、富士川町を明るく住みよい町にしましょう。駅やバス停などには、心ない人が投げ捨てたと思われる、タバコの吸いがらが、いたるところに散乱しています。タバコの投げ捨ては、その地域をよこすばかりか、火災の原因にもなります。

各地域で、この富士川町をきれいにしようと、善意的に推進している人たちに、町民のみなさん一人一人が協力して、明るくゆたかな町にしましょう。

# 教育施設の整備が着々と進む

## 第一小学校々舎増築と 第二中学校体育館の竣工

2月17日(木)午前10時から、第一小学校々舎増築竣工式が第一小学校で、11時30分から、第二中学校体育館竣工式が完成したばかりの体育館で、それぞれ盛大に行われました。式には高岡文夫町長をはじめ、賛同協議会長、原県議会議長、関係者が多勢参列しました。またそれぞれの式典で、生徒代表から町長に対して、お礼のことがありました。

竣工式終了後第二中学校体育館で、昭和45年度第二中学校の卒業生である稲葉文子さん(八幡町)と日本体育大学トランポリン部、県立富士宮東高校体操部のみなさんによる、トランポリンやボールなどを使った体操の模範演技がありました。稲葉文子さんは中学校卒業後、県立富士宮東高校の体操部に籍をおき、日本体育大学ではトランポリン部へ転向し、昭和51年度全日本学生トランポリン競技選手権の女子Aクラスの部で優勝、名実とも日本一になりました。

これからは  
のびのび教育できる

き、教育向上を推進することが  
できます。

さあ！  
充分の体育活動を

第一小学校の校舎は、昭和43年8月に鉄筋4階建一部鉄骨造で第四工事が完成しました。

当時の富士川町の全人口は、約14,950人でしたが、現在では、16,700人余で、急激に1,800人近くの増となつています。この人口の増に伴い、児童数も増えているので、第四期工事から10年近くも経っている現在では、教室数の不足が生じました。

義務教育施設の拡充整備を最優先施策として、計画的に推進していく町行政からも不足している教室を解消するため、昨年8月6日に、普通教室と音楽教室などの増築工事(鉄筋鉄骨コンクリート)に着手し、11月30日に竣工しました。この工事の完成によって、児童たちも、のびのび学ぶことがで

### 事業の概要

事業費	60,000千円
設計及び監理料	3,000千円
事務費	550千円
計	63,550千円
財源内訳	
国庫補助	6,765千円
起	38,600千円
一般財源	18,185千円
計	63,550千円



上 第一小学校増築校舎の内部

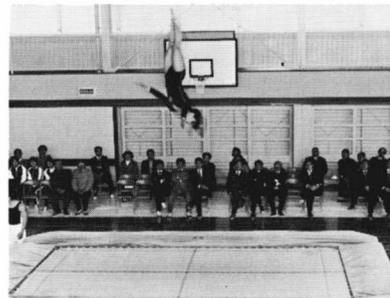


下 第二中学校体育館の内部

第二中学校では、今までは、雨天の時、体育の実技に悩まされてきました。天候が悪いと公民館を利用したり、多くは教室で普通教育や体育教科に振替えていたのて思ふような体育活動やクラブ活動を達成することができませんでした。この生徒たちに対する不備を

### 事業の概要

事業費	84,000千円
設計及び監理料	3,528千円
事務費	786千円
計	88,314千円
財源内訳	
国庫補助	25,570千円
起	32,400千円
一般財源	100千円
計	30,244千円
財源内訳	
国庫補助	88,314千円
起	
一般財源	
計	



稲葉文子さんの  
すばらしい演技！

なくすため、昨年8月2日に体育館建設工事に着手、今年1月31日に完成しました。鉄骨鉄筋コンクリート一部二階建てです。

この体育館の完成により、生徒の体力向上をはじめ、クラブ活動なども推進していくことができます。また、夜間は地域住民のコミュニティにも大いに役立つものと思えます。

### 新入学児を

## 交通事故から守ろう

今年もまた新入学のシーズンを迎えました。新入学児をもつ御家庭では、一緒に子供の将来に夢と期待を寄せていることでしょう。でも一番心配されることは、交通事故のことです。今までは親や幼稚園などの先生がいつも子供のそばにいて交通事故にあわないよう守ってきました。

しかし、これからは子供自身が自分の安全を図っていかなければなりません。この時期の指導いかなが子供の一生の安全を左右します。通学路を中心に具体的な指導をくり返し行うことがなによりも大切です。



#### ▼御家庭の方に

子供が安全な行動がとれるよう入学前に通学路を實際に歩きながら安全な経路、危険な場所と安全の確かめ方などを具体的に指導しましょう。

#### ▼車を運転する方へ

子供の事故で一番多いのが「飛び出し」です。子供を見たら飛び出すものと思いき行して下さい。学校周辺のスクールゾーンや、通学路ではとくに速度を落としましょう。

### レポート

## 青年の船に 参加して



荻野和代

私が青年の船に乗ろうと思った動機は、自分に信念がない、それに人前では全然話せない、そんな自分を変えたいと思っこの船に応募しました。昨年の六月に申込みをしてから、今年の一月十一日に船を降りるまであつという間に過ぎてしまいました。今では、夢の中のできごとの様に思われます。船内での生活が普段の生活と、あまりに違い過ぎていたからだと思えます。乗船する前に決心した事があります。それは船酔いをしてはい、餅つき大会でお餅をつくこと、そして、何んでも積極的に行動する、この三つです。自分では、どれも達成したと思っています。

船内の生活は、五分前集合で徹底されています。船の一步外では、どうして時間的にルーズ

になつてしまふのでしようか。貴重な時間という二度と帰らないものを、私たちは、もつと有効に使うべきだと思います。集団生活を通して、多勢の中の一の持つ責任の重さを知り、そして、人に頼らずに自分が考えて行動する事を覚えました。とても新鮮な驚きを感じました。香港の中文大学との交換会があり、そこで、十八才の女の子と友達になる事ができました。言葉がわからないので、お互いに英語と漢字を使って必死に理解しようと努力しました。話の内容は家族のこと、学校のことなど簡単な事しか聞けませんでした。が、お互い心が通じたと思民族の違いを越して、同じ人間同志なんだなあと、とても感激しました。彼女は日本の事をよく知っていて、それに、何に對しても興味を示して積極的でした。私は自分の不勉強を取るかしく思いました。

マカオで初めて国境を見ましたが、不便なものだなあ、ぐらいにしか感じませんでした。しかし、船長が帰りの航路を変えて、現在問題になっている日本の最南端にある尖閣列島を見せてくれ、国境のもつ重要な役割

を、そして人間の存在すべき条件は平等と謙虚の調和であると教えてくれました。これからは国際社会の中の日本として、広い視野から物を見る事ができるように勉強していきたいと思えます。そして、他国のまねばかりしないで、日本人としての誇りを持ちたいと思います。食糧問題の講義の中で私が最も共感した言葉がありました。それは「土にまみれて作業している人たちを尊重しなければいけない。お金を出せば何でも手に入る。そんな考えでいると世界に通用しなくなる。日本は日本国内で、できる限り自給能力を高めないといけない」です。私はこの言葉のように、これから少しでも多くの物を自分で作り出していきたいと思えます。

### 春の全国 交通安全運動

4月6日～4月15日

“ゆっくり走ろう”

## 火災は人災 防ぐはあなた

最近、各地で火災が多発しています。庵原郡下でも今年に入ってから2月20日までに、18件もの火災が発生しました。その三町の中でも当町が一番多く、8件あります。

3月が年間でも一番火災が発生しやすく、原因の最も多いものがタバコの不始末によるものです。みなさん一人一人が火災予防に充分留意して、我が家の安全に努めましょう。

- 特に家庭での注意事項は
- タバコの投げ捨てと寝タバコの防止
- 暖房器具やガス器具の正しい使用
- 就寝前や外出前の火の元点検



火事の原因  
こんなところからも



- の徹底
- 消火器具や消火用水の備え付け
- 火遊びの禁止と、たき火の際の安全確認
- 火災の際の消火活動や避難方法の周知徹底
- また、学校や職場では、次のような火災予防を。
- 火災予防に関する知識の普及
- 消防用設備などの設置と点検整備の安全実施
- 消防計画などの周知徹底と訓練の実施
- 避難路の安全確認
- 火気使用場所の整理・整頓及び防火カーテン使用などによる出火の予防

### 町の民話

#### 小池の大蛇 ①

今から三百六十年ばかり前のお話です。

中之郷小池のあの田圃は、今は住宅化されていますが、その頃は一面広々とした底無しの池でした。それで四十九の近くにあつたお地蔵様に参詣する蒲原の人達は舟でその池を渡らなければお参りはできませんでしたけれどもそれは非常に大変でしたので、その広い小池ヶ淵の傍にある山にお花を供え、対岸にあるお地蔵様をはるかに拝み参拝をすませたことにして帰るようになりなりました。それでそのお山には花立山という名がつきました。

その頃、富士川は大楽窪・寺山の下を流れていて大楽窪・寺山の間にあつた山は富士川の急流に洗われた為になうすくなくなつてしまつていました。

その頃、小池ヶ淵の物凄く魔の底という所には、二丈も三丈もある大蛇が棲んでいました。この大蛇は小池大蛇(こいけおろち)と呼ばれていました。

或る年の事、幾日も幾日も早がつづきました。田圃にある稲も枯れそうになり、所々に割れ目さえ出来ました。中之郷・蒲原のお百姓さんたちは大変困つて、どうか雨が降るようにと願つて居りました。

その頃、小池の村に大変信仰深い太七と云う若者がいました。太七は氏神様である宇多利神社に心願をこめて、「どうか雨を降らせて、百姓たちの難儀をお救い下さい」と毎日祈りました。

それは丁度、日照りがつづきはじめてから四十五日目の朝のことでした。一心に祈りつづけている太七の前に、白髭をぼうぼうと生やした気高いお爺さんが現われて「太七よ、この日照りは小池大蛇の仕業なのじゃ、それは大蛇が今大変喰べ物に飢えている。で、美しい娘を池に捧げなければ雨は降らないであらう」と云うが早いお爺さんは姿を消してしまいました。

不思議なお爺さんの話を聞いた太七は早速村へ帰つて村人と相談しました。そして美しい娘はいろいろ相談の結果、遂に太七の許嫁である蒲原の長者の娘蒲原小町にきまりました。

太七は大変悲しみました。けれども村の為ならばと思つて直ぐそれを蒲原小町に告げました。蒲原小町は非常に驚きをして悲しみました。然し遂に決心して村の為、大蛇の餌になる事に決めました。

ある夕方、小町は小舟に乗せられて村の人々に送られ、小舟と共に池深く沈みました。歯を食いしばつてこの有様を見ていた太七の目からは大粒の涙がポロポロ流れました。すると俄に天が曇つてみるみる中に大雨となり、そのおかげで村は救われました。

ところがそれから太七は、どうも小池大蛇を退治したい小町の仇を取りたいと、いつも思つて居りました。そして朝夕二度、宇多利神社に心願をこめて、ひたすら仇討の事ばかり思つて居りました。

自分の可愛い娘を小池大蛇に喰べられた蒲原の長者も太七と心を合わせ、間もなく幾百人かの若者を集め、それぞれ太刀・弓矢を持たせ、太七を先頭にして小池ヶ淵に押しかけ、小池大蛇を退治することになりました。

(次号へつづく)





52・1・20〜2・19

(敬称略)

おめでた

区名	出生児	保護者	続柄
木島	井出 裕亮	眞裕	長男
小山	加藤 美雪	勝行	二女
〃	太田 善治	仁	長男
相生町	望月 正義	良章	長男
坂下	齋藤 有矢	孝	長男
〃	加藤 昭昭	眞助	二男
旭町	齋藤 崇人	秀夫	二男
川坂	福田久仁美	進	二女
〃	望月 弘	孝夫	長男
四十九	関 奈々美	信夫	長女
〃	伊東 恒行	信邦	長男
〃	内野 輝子	英治	二女
宮町	田淵 洋治	文哉	二男
〃	佐野 雅之	勝一	二男
小池	櫻井 香苗	賢一	長女
〃	志村真理子	齊	長女
幸町	島山 征也	秀雄	長男
〃	小畑 恵美	延男	二女
東町二	三浦 陽子	悦雄	二女
南町二	高岡 麗	利光	二女
富士見	佐野 裕美	昌克	長女
八幡町	佐野 実保	章治	長女
清水町	深澤 佳代	聖	二女
大北町	杉原 翠	和男	長女
〃	住田 真樹	勝	二男

よろこび

大北町	宇佐美伸浩	英晴	長男
区名	新 郎	新婦	旧姓
四十九	平川 昭夫	彩子	荻野
宮町	赤堀 純二	一恵	松永
東町一	曾我 進	光代	森
清水町	太田 郁雄	美恵子	望月

おしあわせに

区名	氏名	転出先
相生町	丸山由紀子	清水市
坂下	太田 静江	富士市
本通一	井上てる代	富士市
東町二	天野 裕子	川崎市
清水町	宇佐美孝乃	富士市

かなしみ

区名	氏名	年令
上町	増田 五郎	六三
四十九	浦田 ゆう	七五
〃	関 さい	六二
宮町	岡村佐太郎	二八
小池	佐藤 秀丙	七〇
〃	中川 丑吉	五六
本通四	鈴木 榮一	四三
幸町	齋藤 友司	四四
東町二	落合 桂作	六九
南町一	天野 彦作	七九
〃	稲川 敏久	七六
〃	天野 ふく	七六
南町二	小林 丑松	七七
清水町	深澤 花江	六九
儘下町	朝比奈ウツノ	七二

富士川町の人口と世帯の推移

年次	富士川地区				松野地区				合計			
	男	女	計	世帯数	男	女	計	世帯数	男	女	計	世帯数
40	5,064	5,138	10,202	2,236	2,124	2,177	4,301	815	( 7,190 ) 7,188	( 7,092 ) 7,315	(14,282) 14,503	( 3,057 ) 3,051
41	5,107	5,200	10,307	2,337	2,128	2,203	4,331	840	7,235	7,403	14,638	3,177
42	5,215	5,286	10,501	2,405	2,141	2,198	4,339	873	7,356	7,484	14,840	3,278
43	5,224	5,333	10,557	2,394	2,163	2,226	4,389	904	7,387	7,559	14,946	3,298
44	5,271	5,398	10,669	2,461	2,225	2,296	4,521	945	7,496	7,694	15,190	3,406
45	5,276	5,402	10,678	2,483	2,254	2,318	4,572	973	( 7,330 ) 7,530	( 7,629 ) 7,720	(14,959) 15,250	( 3,456 ) 3,456
46	5,276	5,468	10,744	2,520	2,308	2,355	4,663	1,039	7,584	7,823	15,407	3,559
47	5,349	5,522	10,871	2,611	2,361	2,410	4,771	1,038	7,710	7,932	15,642	3,649
48	5,390	5,548	10,938	2,655	2,448	2,441	4,889	1,067	7,838	7,989	15,827	3,722
49	5,436	5,679	11,115	2,706	2,559	2,536	5,095	1,131	7,995	8,215	16,210	3,837
50	5,508	5,713	11,221	2,764	2,660	2,630	5,290	1,182	( 8,005 ) 8,168	( 8,257 ) 8,343	(16,262) 16,511	( 3,973 ) 3,946
51	5,529	5,718	11,247	2,775	2,760	2,700	5,460	1,241	8,289	8,418	16,707	4,016

資料は人口動態調査より。  
各年とも10月1日現在・( )は国勢調査数

10年間で  
2千人増えた

当町の人口は年々増加しています。昭和41年10月1日現在で、後の増加が推測されます。

14、638人だった総人口も51年10月1日では16、707人となり、2、069人も増えています。社会の変動で、どう変わるか未定ではあるが、10年後の富士川町の人口は、2万人前



2月詠草 (天野寛選)

四十九 塩川 恒子

吐く息の白く広がり枝打ちの音のみ響く杉林の中

宮町 山田たか子

四年ぶり渡米の友等訪い来り炬燵かこみぬ夜の明るるまで

宮町 浦田 次子

おごそかに葬儀つとむる若き僧二十数年経たる教子

相生町 長谷川ゆり子

乾草の高く積まれし山の道雪解けぬままたべとなりぬ

旭町 飯野よし子

しもやけに赤くはれたる幼児の手にするシャベル庭の土すくう

上町 水口 大礼

スリランカの色黒き子等にこやかに仏教使節の我等を迎ふ

本通 田村 タカ

吾が姑を尋ねて売りに来し農の山いも一把求めおきたり

上町 植松 法子

卒業後十六年経て会う友ら互に中年の分別ありて

本通 桐谷 静子

雑布の凍てし軒場に日の出前孫のむつきを並べ干したり

本通 望月 録

終戦後を生き来て萎えしこの手足冷えしるき夜の風呂に労わる